

Cover Photo



岩屋ダム
(岐阜県下呂市)

CONTENTS

- 02 巻頭言 **新年のごあいさつ**
独立行政法人水資源機構 理事長 金尾健司
- 04 特集 **中部を支える木曽川水系**
水資源開発と管理の足跡
- 10 連載 **江戸期の水の技術 者 群像**
第3回〈紀州流〉治水利水の祖、
伊澤弥惣兵衛（付：田中丘隅）
- 16 トピックス
利根川の豊かな水を運んで40年
～北総台地を潤す成田用水・北総東部用水～
- 18 連載
気象キャスターが解説！天気のカタ
第27回 **東シナ海と長崎**
気象キャスターネットワーク 斎藤 綾乃
- 20 水機構ニュース
- 22 第36回
“水とのふれあい” フォトコンテスト
入賞作品
- 24 今号のピックアップムービー



独立行政法人
水資源機構

金尾 健司

明けましておめでとうございます。
長く続いた新型コロナウイルス感染症
緊急事態宣言は昨年九月に解除となり、
現在のところ感染状況も低水準で推移し

ています。水資源機構^{みずしげん}では、感染防止対策を徹底し業務の継続に支障を来さぬよう対応してきましたが、引き続き気を緩めることなく、感染防止に努めてまいります。

近年の気候変動による異常豪雨の頻発を背景として、全国で流域治水プロジェクトが動き出しました。その中で、ダムによる洪水調節[※]は大きなウェイトを占

めています。昨年八月の豪雨では、木曽川水系で大きな出水となり、機構管理の味噌川ダムや阿木川ダムなどで洪水調節を行い、大きな効果を上げました。特に、利水ダムである牧尾ダムは、事前放流[※]により確保した容量を使って洪水をため込み、下流の水位低下に貢献しました。後日、管理所を訪れた下流の町長から感謝の言葉をいただいたことは、大きな地域づくりに、より一層貢献する

な励みとなる一方で、ダム管理の重責をあらためて感じさせることとなりました。引き続き確なダムの操作運用に努めてまいります。

昨年は、利根川・荒川水系において、関係機関あげて種々の治水対策を準備した東京オリンピック・パラリンピックが無事終了するとともに、他の水系においても、安定的な用水供給に努め、幸いにも大きな渇水に見舞われることはありませんでした。その中で、愛知用水は通水六十周年、成田用水及び北総東部用水は通水四十周年という節目の年を迎えました。土地改良区をはじめ関係者のご支援

川水系の思川開発事業では、南摩ダム^{なんま}本体の基礎掘削を終え、盛り立てに着手しました。令和六年度完成に向け着実に工事を進捗させてまいります。房総導水路施設緊急改築及び木曽川右岸緊急改築は令和三年三月に計画どおり完了し、愛知用水三好支線水路緊急対策では、三好池の堤体補強が終わり、残る支線水路の改築を進め、来年度に完了の見込みです。

さて、社会全体のデジタル化を目指して、行政が担うサービスにおいて、デジタル技術やデータを活用し、利用者目線に立った新たな価値を創出するデジタル・トランスフォーメーション（DX）の取組が求められており、水資源機構も昨年九月に「DX推進プロジェクト」を策定しました。これにより、水資源の開発・利用を進める上で、あらゆる分野でデジタル技術を活用して国民・利水者への各種サービスの向上を図り、安全で良質な水の供給や、災害に強い安全で豊かな水

な地域づくりに、より一層貢献することにより、業務プロセス、働き方を変革することを、職員のワークライフバランスを実現しつつ、将来に向けて担い手の確保を図ることとしています。
今年の四月には第五期中期目標期間がスタートします。気候変動への対応、施設の老朽化や耐震化への対応、災害支援、海外インフラ展開など数々の課題に對して、あらたに策定する中期計画にもとづき、引き続き水資源開発施設の適切な管理・建設に努めてまいります。今後とも関係の皆様のご支援・ご協力をお願いいたします。

きたことに感謝するとともに、引き続き適切な用水管理に努めてまいります。

水資源開発施設の建設・改築については、淀川水系の川上ダム建設事業が、昨年十二月から試験湛水を開始し、来年度完成に向けて順調に進捗しています。利根

※洪水調節…ダムに洪水の一部を貯めて、下流河川の水量を減らして水位を下げること
※事前放流…大雨が予測される場合に、事前にダムの空き容量を確保（利水容量の一部を使用）するための放流

（防災用語ウェブサイト「国土交通省川の防災情報」より）